



2017年2月13日

トレンドーズ株式会社

トレンドーズ、“秒速認知”キーワードプランニングセミナーを開催 ハッシュタグ時代に<広がる>キーワード事例を livedoor ニュース プロデューサー 森 和文氏をゲストに迎えてご紹介

「MarTech Company」としてマーケティング×テクノロジーを軸とした事業展開を進めるトレンドーズ株式会社(所在地:東京都渋谷区、代表:岡本伊久男、東証マザーズ上場:証券コード 6069)は、Instagram や Twitter など SNS のハッシュタグと連動させる複合的 PR 手法「キーワードマーケティング」をテーマに、企業向けセミナーを3月7日(火)に開催いたします。ゲストスピーカーには、LINE 株式会社が運営するメディア「livedoor ニュース」「Peachy(ピーチイ)」プロデューサー・森 和文氏をお招きします。

◆ ハッシュタグ時代の PR プランニングは「瞬間的な認知」が勝負

TV、Web ニュース、SNS のプッシュ通知…情報の洪水に埋もれるイマドキの消費者。そのココロに深く刺さり、情報を広げるための手段が「キーワードプランニング」です。

「イクメン」「マイルドヤンキー」などの“ヒト”、「ヌーハラ」「#溶けちゃった」などの“コト”、…今日ではあらゆる事柄がキーワード化されています。特に PR 戦略を立てる上で欠かせない存在となった SNS には、「ハッシュタグ」に象徴されるキーワードがあふれていると言えるでしょう。ハッシュタグ時代のマーケティング戦略には、第一に言葉の海を生き延びるための強烈なキーワード作りが必要とされているのです。

そこで今回は、複雑な事象を“秒速で認知させる”ためのキーワード設計セミナーを実施いたします。ゲストスピーカーに「livedoor ニュース」「Peachy」プロデューサーの森 和文氏をお招きし、プランニング・メディア双方の視点から、ココロに響くキーワードの作り方を読み解きます。

▼セミナー概要

タイトル : 「livedoor ニュース」プロデューサーと考える、ハッシュタグ(#)時代の“広がる”キーワードプランニング
～キーワードが生み出す「秒速認知」とは～

日時 : 2017年3月7日(火) 17:00~18:00(受付開始 16:30~)

場所 : トレンドーズ株式会社 セミナールーム 東京都渋谷区東 3-9-19 ポーラ恵比寿ビル 2F

定員 : 30名 ※応募者多数の場合は抽選となります。

締切 : 2017年2月23日(木)正午

▼セミナープログラム

17:00~17:25 『「秒速認知」を生むキーワードプランニング』

なぜ今、「キーワードプランニング」なのか? どんなキーワードがイマドキの消費者に刺さるのか?

SNS、メディアタイアップ、調査PR…ありとあらゆるPR施策を一気通貫させ、「秒速認知」を生むためのキーワード設計のアイデアを、弊社事例を交えてご紹介いたします。

17:25~17:50 「livedoor ニュースと考える、メディア目線の『イマドキキーワード』」

毎日 LINE の公式アカウントからニュースが配信されている、「livedoor ニュース」と「Peachy」。

そのプロデューサー・森 和文氏から、イマドキ読者にクリックされやすいニュースタイトルや、読者のヒキになる「キーワード」のヒミツをご紹介します。さらに、今年 2017 年最も注目している「キーワード」を教えていただきます。

17:50~18:00 質疑応答

▼スピーカー

<ゲストスピーカー>

・LINE 株式会社 livedoor ニュース、Peachy プロデューサー 森 和文

2005年、株式会社ライブドアに入社。以来、ニュース事業に携わり、2011年より現職。livedoor ニュースを月間約8億PVと、日本有数のニュースサイトへと育て上げる。

Facebook、Twitter などの SNS 展開や、メッセージアプリ「LINE」との連携など、幅広く業務を手がけている。

<スピーカー>

トレンドーズ株式会社 エグゼクティブプランナー 海野 秋生(うんの あきみ)

▼申込用 URL

https://www.trenders.co.jp/m_seminar/170307

■このリリースに関するお問い合わせや資料・取材をご希望の方は下記までご連絡ください■
トレンドーズ株式会社 <http://www.trenders.co.jp> 東京都渋谷区東 3-9-19 ポーラ恵比寿ビル 2F・3F
担当:秋枝(あきえだ)・新井(あらい) / TEL:03-5774-8876 / FAX:03-5774-8875
お問い合わせメールアドレス press@trenders.co.jp